

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語特論 I	
科目基礎情報							
科目番号	2024-747			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	新機能材料工学コース			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	朝日出版社 「議論伯仲：ふたつの意見」 Jewel Mark著						
担当教員	(英語科 非常勤講師) ,井原 洋一郎						
到達目標							
本科での学習を土台として以下のことができるようになる。 1. あるテーマの賛成・反対意見を英語で読み、内容を理解できる。 2. 自分の意見 (賛成・反対) を英語で表明し、その理由を述べる、または書くことができる。 3. 授業で取り扱ったテーマのうち1つを選び、自分の意見 (賛成・反対) を補強する情報をリサーチすることができる。 4. リサーチした内容をまとめ、自分の言葉で表現できる。 5. 自分の意見とその理由、具体例を挙げて、1/パラグラフ (120～150ワード) のエッセイにまとめることができる。 6. 書いたパラグラフを基にパワーポイントでプレゼンテーション資料を作成し、英語で発表できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 トピックについて賛否とその理由を英語でクラスメートと共有することができる。		□トピックについて賛否とその理由、具体例を挙げて英語でクラスメートと十分に情報交換できる。		□トピックについて賛否とその理由を英語でクラスメートと概ね情報交換できる。 □読んだ英文を100語程度の英語で要約や意見表明ができる。		□トピックについて賛否とその理由を英語でクラスメートと情報交換できない。 □読んだ英文を100語程度の英語で要約や意見表明をすることができない。	
評価項目2 トピックについてリサーチし、120～150ワードのエッセイにまとめることができる。		□正確な文法や語法、つなぎ言葉を用いて、理由や具体例を挙げながら自分の意見を文章にまとめることができる。		□概ね正しい文法や語法、つなぎ言葉を用いて、理由や具体例を挙げながら自分の意見を文章にまとめることができる。		□正しい文法や語法、つなぎ言葉を用いて、理由や具体例を挙げながら自分の意見を文章にまとめることが困難である。	
評価項目3 トピックについてプレゼン資料を作成し、英語で発表することができる。		□トピックについて理由や具体例を挙げながら、英語で分かりやすく、説得力のある発表をすることができる。		□トピックについて理由や具体例を挙げながら英語で発表をすることができる。		□トピックについて理由や具体例を挙げながら英語で発表をすることが困難である。	
学科の到達目標項目との関係							
【プログラム学習・教育目標】 D 実践指針 (D2) 実践指針のレベル (D2-4)							
教育方法等							
概要	・あるテーマに関する英文を読み、書き手の意見とその理由、具体例を理解する。 ・モデルの英文を参考にして、論理展開の仕方を学ぶ。 ・モデルの英文を参考にして、自分の意見 (賛成・反対) とその理由を英語で述べる。また他者の意見を聞き、理解する。 ・テーマについてリサーチし、自分の意見を補強する情報を集め、自分の言葉でまとめる。 ・リサーチを基に、自分の意見 (賛成・反対) を表明し、その理由と具体例を英語で1/パラグラフ (120～150ワード) のエッセイにまとめる。 ・書いたパラグラフを基にパワーポイントでプレゼンテーション資料を作成し、英語で発表する。						
授業の進め方・方法	・テキストに記載されているモデル英文と演習を活用して、読解と論理展開の仕方を学ぶ。 ・モデル英文を読み終わった後に自分の意見とその理由を英語で書き、授業終了時に提出する。 ・自分の意見とその理由を英語で述べてみる。またペア・グループワークを通じて、英語でお互いの意見を交換する機会を設ける。 ・様々なツールを利用して、単語や正しい語法を調べる。 ・主にインターネットや文献等により、自分の意見を補強する情報を調べる。 ・リサーチした内容を基に、自分の意見を英語でエッセイにまとめ、課題として提出する。 ・PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する。 ・英語でプレゼンテーションを行う。						
注意点	1. 評価については、評価割合に従って行う。 2. この科目は学修単位科目であり、1単位あたり15時間の対面授業を実施する。あわせて1単位あたり15時間の事前学習・事後学習が必要となる。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 教材の提示、授業の進め方や評価方法に関する説明、英語で簡単な文章を書いて提出。		学習の手順と方法について知る。英文を書く上で意識したいポイントを理解する。		
		2週	Topic 1 モデル英文を読み、自分の意見とその理由を英語で書く・述べる。		1つのトピックについて自分の意見とその理由を英語で書く・述べることができる。		
		3週	Topic 2 モデル英文を読み、自分の意見とその理由を英語で書く・述べる。		1つのトピックについて自分の意見とその理由を英語で書く・述べることができる。		
		4週	Topic 3 モデル英文を読み、自分の意見とその理由を英語で書く・述べる。		1つのトピックについて自分の意見とその理由を英語で書く・述べることができる。また他者と意見を交換することができる。		
		5週	Topic 4 モデル英文を読み、自分の意見とその理由を英語で書く・述べる。		1つのトピックについて自分の意見とその理由を英語で書く・述べることができる。また他者と意見を交換することができる。		
		6週	Topic 5 モデル英文を読み、自分の意見とその理由を英語で書く・述べる。		1つのトピックについて自分の意見とその理由を英語で書く・述べることができる。またグループでディスカッションできる。		

		7週	Topic 6 モデル英文を読み、自分の意見とその理由を英語で書く・述べる。	1つのトピックについて自分の意見とその理由を英語で書く・述べることができる。またグループでディスカッションできる。
		8週	Topic 7 モデル英文を読み、自分の意見とその理由を英語で書く・述べる。	1つのトピックについて自分の意見とその理由を英語で書く・述べることができる。またグループでディスカッションできる。
	2ndQ	9週	エッセイ（120～150ワード）の準備 アウトラインの作成とリサーチ。	トピックを選び、アウトラインを作成できる。また自分の意見を補強する情報を収集し、自分の言葉でまとめることができる。
		10週	エッセイ（120～150ワード） ドラフトの作成。	アウトラインとリサーチした内容を基にドラフトを書くことができる。
		11週	エッセイ（120～150ワード） 修正し、最終版を提出。	自分の意見（賛成・反対）とその理由、具体例を英語で1パラグラフ（120～150ワード）にまとめることができる。
		12週	プレゼンテーション準備 プレゼン資料の作成。	PowerPointを使用してプレゼン資料を作成することができる。
		13週	プレゼンテーション プレゼンテーション及びQ&A	自分の意見（賛成・反対）とその理由、具体例を英語で発表することができる。また英語で質疑応答ができる。
		14週	プレゼンテーション プレゼンテーション及びQ&A	自分の意見（賛成・反対）とその理由、具体例を英語で発表することができる。また英語で質疑応答ができる。
		15週	プレゼンテーション プレゼンテーション及びQ&A 授業のまとめ、授業アンケート実施	自分の意見（賛成・反対）とその理由、具体例を英語で発表することができる。また英語で質疑応答ができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	プレゼンテーション	エッセイ	課題	合計	
総合評価割合	40	40	20	100	
総合評価割合	40	40	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	